

起点。

t h e o r i g i n

～君の可能性がここからはじまる～

探求し続ける学びも、新たな自分との出会いも

変わりゆく社会への挑戦も、全てはここから。

目まぐるしいスピードで変化する時代を恐れることなく

惑うことなく、まっすぐに進んでいくために。

何をしたいのか、何ができるのか。たとえ今はわからずとも

人生の大切な時期に、人としての基盤を築く4年間で学び得たものは

決してブレることのない自分自身を築いてくれる。

自らは思いもしなかった可能性を開いてくれる。

佐賀大学、ここを起点に社会へ、明日へ。

起点。
知性を
磨く

P8へ

起点。
自信を
育む

P12へ

起点。
世界を
知る

P14へ

起点。
社会と
つながる

P18へ

起点。
時代に
挑む

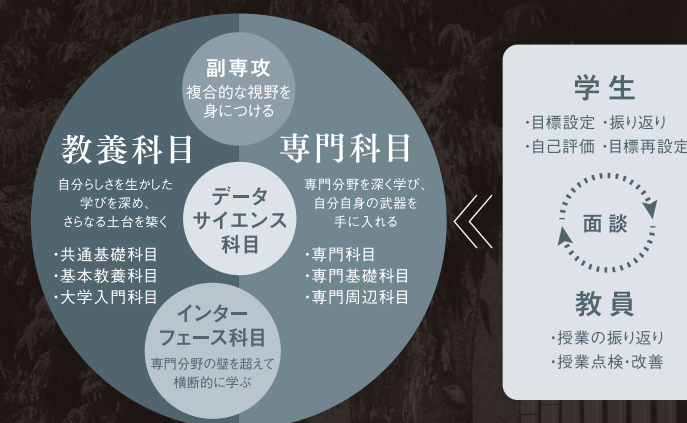
P20へ

起点。
可能性に
出会う

P22へ

基礎を大切にしながら多彩に学び
一人ひとりに合った教育プログラムを構築。

佐賀大学では総合大学の強みを生かし、専門科目の他にインター
フェース科目やデータサイエンス科目などを組み込み、学生が望む多
彩な学びの環境を整えています。ICT教育の活用など、学びをサポート
するシステムも充実させ、学生一人ひとりに合った教育を目指します。



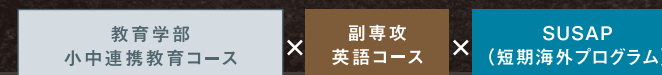
佐賀大学学士力

1. 基礎的な知識と技能
2. 課題発見・解決能力
3. 個人と社会の持続的発展を支える力

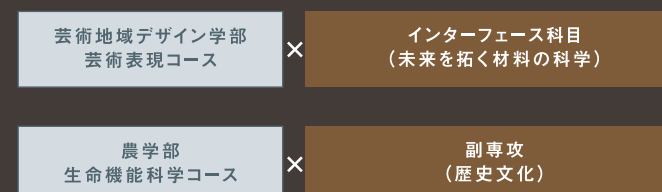
学びのカタチを自由に選択し
自らの可能性を見いだす。

専門分野を基本にしながらも、自分が学びたい分野や興味のあるプログラムを自由に組み立てることが可能です。専門分野以外の知識を修得することで、また理系文系を超えて幅広く学ぶことで、物事を多面的に捉える複眼を養います。

〈多様な学びを専門分野に生かす〉



〈文・理の枠を超えて学ぶ〉



インターフェース科目 必修



視野と柔軟性を広げ、知識・技能を社会に活かす。

インターフェース科目は専門科目や教養科目をさらに深めたり、社会とのつながりの中で興味がある分野の知識や技能を培うことで自分自身の強みを増やし、社会で生き抜く実践的な力を培うことを目的とした科目です。
思い描く将来に近づくために、より広い視野や考え方を身につけ、多様化する社会に柔軟に対応していくことを目指します。

POINT 01

専門分野の枠を超えて
横断的に学ぶ

POINT 02

アクティブラーニングで、
実践力を身につける

POINT 03

社会とのつながりで
視野を広げる

◎インターフェース科目

インターフェース科目は6つのコースと24のプログラムから構成されています。
学部や専門分野を問わず、好きな科目1プログラム(4科目・8単位)を選んで履修します。

環境コース



環境・資源・エネルギーなどに関する現代的課題を理解し
課題に主体的に取り組む知識と応用力を養います。

- 機械工学と環境
- エレクトロニクスと環境
- 佐賀の環境

文化と共生コース



異なる文化や性別の人々と一緒に交流・協働し、
芸術的創造を社会で用いる豊かな人材を育成します。

- 異文化交流
- 肥前陶磁器産業体験
- Intercultural Communication
- ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化
- 芸術と社会
- 歴史文化
- 英語コミュニケーション

生活と科学コース



現代の社会生活における諸問題を多面的に考え、
解決するために情報を収集し分析する知識を学びます。

- 未来を拓く材料の科学
- 情報技術者キャリアデザイン
- 2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方 **PICK UP**
- 食糧生産の科学
- ライフサイエンス・フードサイエンス

人間と社会コース



社会状況から生じるさまざまな現象を多面的に学び、
解決に向けた分析や立案する知識や技法を習得します。

- チームビルディングとリーダーシップ **PICK UP**
- リサーチ・リテラシー
- スポーツイベントとボランティアリーダー **PICK UP**

医療福祉と社会コース



環境や食の問題、少子高齢化社会を見据えて、
支援と共生の社会を作り上げる人材を育成します。

- 現代社会と医療
- 食と健康
- ライフサイクルからみた医療

地域・佐賀学コース



地域を社会・文化・経済などのさまざまな面から取り上げ、
具体的な事例を使って地域を中心に思考する力を養います。

- 佐賀の歴史文化
- 地域経済と社会
- 佐賀SDGsグローバルアクション **PICK UP**

\ PICK UP /

佐賀SDGsグローバルアクション

実践を通して学ぶSDGs

人類の「共通言語」としてのSDGsの基礎及び17の目標のうち重点的な課題についてグローバルな視点から学び、169のターゲットの中から佐賀のローカルな課題解決に向けた具体的なアクションを促します。佐賀大学が企業・行政・市民と目標を共有・連携し、授業開放にも取り入れているプロジェクトです。

- 協働での企画立案・実践
- 地域創生型SDGs



チームビルディングとリーダーシップ



自らのリーダーシップを学ぶ

実践と省察を繰り返しながら自分自身の持つ
「リーダーシップ」と「チームビルディング」につ
いて学び、授業や研究室での活動、サークルや地
域ボランティア活動において、主体的・能動的に
関われる人材の育成を目指します。

- 学生チームでの協働「企画づくりと企画書作成」
- 社会課題へのアプローチ など

スポーツイベントとボランティアリーダー

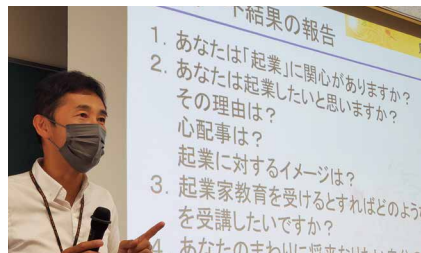


満足できるイベントづくりを考える

スポーツイベントの参加者と実施者がともに
「やってよかった」と思えるイベントに必要な要
素とは何か。佐賀県庁の職員や企業を招いてイ
ベントづくりの考え方を教えてもらい、複数のイ
ベントの実践と反省を繰り返しながら考えます。

- 企画づくりと企画書作成
- 企画の実施と反省 など

2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方



2年間で学ぶベンチャー企業

プログラミングの基礎技術を身に付けるととも
に、アントレプレナーシップと企業経営、知財戦
略の理解を深め、様々な分野を対象にITを活か
した新しいサービスとビジネスモデルの創造に
トライできる人材の育成を目指します。

- アントレプレナーシップとプログラミング入門
- 知財戦略とプログラミングの活用



農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース
原田 豊徳

専門外のSDGsを学ぶことで視野が広がり 「農学で何ができるのか」を考えるように！

私がこの科目を選択した理由は、社会の課題について考えるだけでなく、「大学生の立場からアクションを起こすことができる!」と感じたからです。授業では、佐賀市内の企業や行政・団体と一緒にグループワークや活動を行いました。コロナ禍で授業が制限されている中での取組みということもあり、非常に楽しく有意義に取り組めました。他学部の学生や企業・団体の人とのつながりができたことで、自分が専門として学んでいる農学以外の視点を持つこともできました。このつながりは今後いろいろな影響を与えてくれると思うので、大切にしたいですね。SDGsを考えることで人としても成長できたと感じますし、農学分野で何ができるのかを考えるいいきっかけとなりました。私は将来家業である農業を継ぎますが、農作物の生産だけでなく、環境への配慮や持続可能な生産を可能にする新たな取組みも率先して行いたいと考えています。

原田さんの
学びのタイプ

農学部生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース

佐賀SDGs
グローバルアクション



DATA SCIENCE

データサイエンス 必修



今こそ学ぼう！仕事・暮らしに役立つデータサイエンスの基礎。

日本だけでなく世界的にも注目を集め、必要不可欠となっているデータサイエンス。

佐賀大学では、必要に応じたデータサイエンスを学ぶことができるようになりました。

「数理・データサイエンス・AI」は、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」といわれており、今後、皆さんが社会で活躍するための必須スキルです。

データサイエンスとは？

現代社会では、ICTの急速な進化によって多彩なデータが得られるようになり、膨大なデータが蓄積されています。それが一般にビッグデータと呼ばれるものです。そしてそのデータを読み解き、価値ある情報を導き出すのがデータサイエンスです。決して新しい研究分野ではなく、すでに多くの企業や社会で活用されており、様々な業種・分野で今後も不可欠になっていくと考えられます。そこで佐賀大学では、データサイエンス教育プログラムを策定し、2021年度から全員が学べるようにしています。

データサイエンスの活用例



データを
正しく読み解き
説明する
力がつく

どんなところで
データサイエンス
が使われて
いるかがわかる

データサイエンスを学ぶことで、できること

データやAIを
利活用する際の
倫理やルールが
わかる

データ社会の
脅威を理解し
リスク回避
できる

データ保護の
重要性と保護
のための方法を
理解する

教育学部



教育の現場でもデータサイエンスは重要になり、今後は小学生や中学生への教育も普及していくことが考えられます。自分で理解するだけでなく、人に教える理解が望まれます。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II

芸術地域デザイン学部



たとえば橋や道路の交通量のデータを蓄積して渋滞緩和や安全対策に活かしたり、従来は勘や経験に頼っていた地域のものづくりが数値化できるなど、暮らしの質の向上が期待できます。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II

経済学部



データサイエンスは経済と密接に結びついています。現在もすでに日常の買い物、ネットショッピング、交通手段などから多くのデータが蓄積され、それを活かした商品開発やサービスが展開されています。
[リテラシーレベル]
●大学入門科目 ●情報基礎概論 ●基本統計学
●基本ミクロ経済学 ●基本経営学 ●基本法学
[応用基礎レベル] ●AI・数理・データサイエンスI・II 他

医学部



新しい治療方法や医薬品の開発にはデータサイエンスが不可欠です。健康・介護・医療のビッグデータを利用し、個々人の健康管理や疾患予防への取り組みも期待されます。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II

理工学部



製品・技術開発の分野ではビッグデータの分析・活用が進んでいるほか、製造業でも効率化や安全のためのAI活用が進んでいます。人的・時間的な効率化も可能となります。
[リテラシーレベル]
●理工リテラシーS1・S2 ●データサイエンスI・II
[応用基礎レベル]
●微分積分学 ●線形代数学 ●データサイエンス 他

農学部



AIやIoT、ビッグデータ、ロボットを活用したスマート農業の実現にはデータサイエンスが基本となり、農業が抱える人手不足の解消や生産・流通の効率化を図ることが可能になります。
[リテラシーレベル]
●情報基礎概論
[応用基礎レベル]
●AI・数理・データサイエンスI・II 他

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに認定されました。

佐賀大学は、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に認定されました。



全学開講のプログラム

(認定期間は令和9年3月31日まで)



理工学部

(認定期間は令和10年3月31日まで)

AUXILIARY SPECIAL STUDY

副専攻

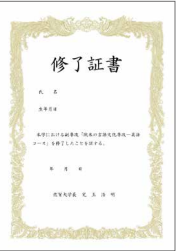


社会に柔軟に対応するため、必要とされる教養を身につける。

副専攻では自分の学部の主専攻にとらわれず、自分が興味のある分野や社会に必要とされる分野が受講可能です。

専門分野の学びを深めることはもちろん、複数の分野の知識・技術を持ち合わせることで多様化する社会に対応し得る

人材を育成します。16単位を修得すると、卒業時に副専攻の修了証書が授与され、就職活動の際は履歴書にも記載できます。



POINT 01

語学や文化を学び、
複合的な視野を身につける

POINT 02

計16単位を修得

POINT 03

卒業時に
副専攻修了証書を授与

副専攻の科目

【欧米の言語文化専攻】英語コース



一定の英語力と留学への意欲がある学生を対象とした英語で行われるインタラクティブな授業と必修の短期留学(派遣・オンライン)のカリキュラムで、国際プロジェクトでリーダーシップが取れる英語力を目指します。

定員は50名程度で、履修希望者を対象に選抜テストを実施します。

【科目の例】

- アカデミック英語
- ビジネス英語
- Introduction to Sociology
- Life in the Global World
- 海外交流実習

【欧米の言語文化専攻】独語コース



英語以外の外国語としてドイツ語を習得する機会を提供します。基本教養科目「ドイツの言語と文化」で初級文法を学んだ後に、インターフェース科目「ドイツ語とドイツ語圏の歴史・文化」を学び、ドイツ語の文法力・読解力を段階的に身につけていきます。3年間の継続的な学びを通して、プログラム修了時に中級レベルに達することを目指します。

【科目の例】

- ドイツの言語と文化I・II
- アカデミック独語
- ドイツ文化論A・B
- ドイツ文学A・B
- 海外交流実習

歴史文化専攻



国内だけで完結していた伝統的な日本史の観点から脱却し、諸外国との交流や交渉の観点から日本の近世史と近代史を捉えなおします。同時に地元佐賀の歴史遺産についても学びます。日本と地域の歴史文化を世界的な視点でとらえ、世界の目、日本の目、地域の目と、3つの視座で見つめ直し、見識を深めていきます。

【科目の例】

- 肥前セラミック学
- 芸術論(副題:美術)
- 日本史
- 文化の分野特別講義(九州・沖縄学I)
- アジアコミュニティ論

データサイエンス専攻



数理・データサイエンス・AI教育プログラムを基に、専門教育科目及び教養教育科目を組み合わせた分野横断的な教育を提供することで、数理・データサイエンス・AIの理解と応用能力を兼ね備え、社会課題の解決や価値創造によって持続可能な社会構築に寄与する人材の育成を目指します。

【科目の例】

- 線形代数学Ib
- 情報科学の世界I
- マーケティングリサーチ
- コミュニケーション論
- データサイエンス教育プログラムの授業科目

理論と実践

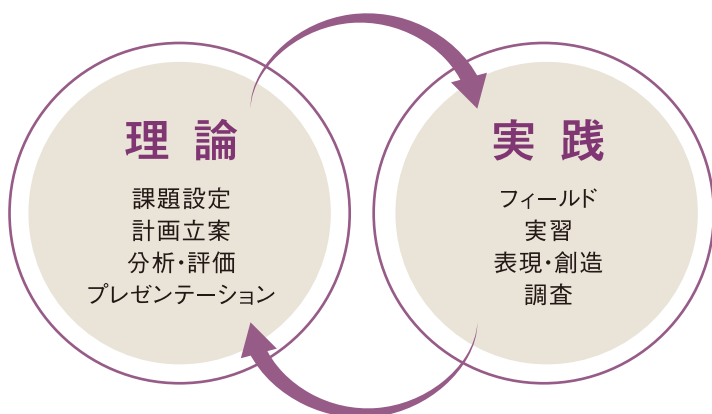


理論と実践の往還により“学び”の深化を目指す。

複雑な現代社会の諸課題を理解するためには、関連する分野の基本概念や理論を学ぶことが必要です。

それだけでなく、学んだことを実践の場で活かし、その経験からまた理論を見つめなおすことは、より深い学びに繋がります。

佐賀大学の教育は、理論から実践へ、実践から理論へ。それを繰り返すことで学生の学びを深め、専門性とともに自信を育みます。



佐賀大学では、課題を解決していくための理論研究を行い、それに基づいてフィールドワークや実習で実践を行っていきます。互いを照らし合わせながら考察を行い、理論だけ・実践だけに終わらせません。理論と実践の両方から課題に取り組むことで学びを深めて解決に導き、自らの実践力を培っていきます。

「理論と実践」の研究や取り組み例

〔農学部〕システム生態学分野

生き物の多様性や生き物同士の相互作用、生活における影響などを研究しています。

生き物の生態や行動を分析。

生き物がおかれた環境の中での行動や生態を探り、生き物同士の相互作用を考察する。

自然の中、生活の中でフィールドワーク。

変化していく自然環境・生活環境の中で、生き物がどう行動していくか、どんな影響を与えるかを観察する。

繰り返して取り組み問題解決へ。

フィールドワークを振り返り、何度も繰り返すことで、生き物の生態の解明、希少生物の保護、生き物による社会課題（環境問題等）などの解決につなげていく。

〔経済学部〕社会課題演習

1年生の後期から、実際の社会課題を取り上げて取り組み、ロジカルな考え方や4年間の学びの基礎を築きます。

社会問題を聞き取る。

経済学部の3つの学科をシャッフルしてグループを組んで多様な視点を持たせ、大学の教員と実務者の双方から同じテーマの社会課題について話を聞く。

自分で考え、説明する。

自身のクラスに戻って振り返り、それぞれが聞いた内容を互いに説明し合う。自分で考え、自分でまとめてロジカルに説明する習慣をつける。

「聞く・説明する」を繰り返す。

理論学習を積み重ねるとともにコミュニケーション能力を鍛え、2、3年生への学びやキャリアデザインにつなげていく。

ラーニングサポート（「学び」の見える化）



学びの足跡を残し、一人ひとりの成長を支援する。

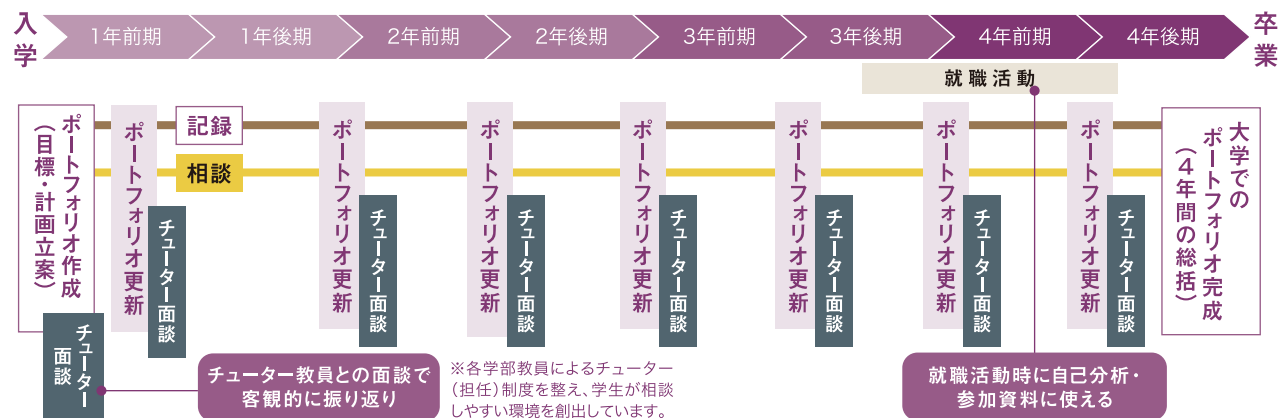
学びに必要なPDCA (PLAN、DO、CHECK、ACTION) サイクルをスムーズに行うため、学習成果の可視化を積極的に行っています。

可視化することで自分自身の学習状況や学習評価を正確に把握し、さらなる成長へとつなげていくことが可能です。

ラーニング・ポートフォリオ

学習の記録や目標を記し、自己を振り返る。

ポートフォリオは自らの学習活動を記入していく、日常的な学習・行動の記録です。学期初めに目標や将来像を入力し、その上で学習内容を自分で記録し、学習成果を可視化していきます。定期的に振り返って自己省察を行うことで成長を実感し、やる気を喚起させていくことができます。日々積み重ねていき、最終的には就職活動時のエントリーシートや自己分析につなげていくことが可能です。佐賀大学ではWEB環境でのポートフォリオで、少しの空き時間でも記入・確認ができるような継続しやすいシステムを取り入れています。



LAPシステム (Learning Analytics Platform)

学習成果をグラフ化し、成長を実感する。

在学中に修得する様々な成果をグラフ化し、自分の学習成果を客観的に可視化していきます。履修した科目の出席率や単位取得状況や成績評価だけでなく、TOEIC®やPROGなどの外部委託試験の結果なども含み、総合的に自分の成長を確認できます。自己評価を確認して今後の学習計画に役立てたり、就職活動に向けた振り返りなどにも大いに役立ちます。

【LAPシステムで確認できること】

- 単位取得状況とGPAの推移
- 成績評価の分布状況
- 出席率
- 外部委託試験 (PROG、TOEIC等) スコア
- キャリアパス特性
- 学士力項目別達成度・自己評価値
- その他



卒業認定制度

学んだことを言語化し、卒業認定を申請する。

学生自ら学習成果を可視化させたラーニング・ポートフォリオから、卒業認定を申請します。卒業を控えた学生が、卒業するにふさわしい学習成果を得ていることや、獲得した能力、成長実感について自分の言葉で記述して申請します。



インターナショナルプログラム



言葉や文化を超えて新しい世界を知ることが、
自分の可能性を大きくする。

POINT 01 英語力

学生に明確な学習目標を与え、自ら英語力をアップさせるためのさまざまなシステムを用意。これらのシステムにより、全学部の英語力は、飛躍的にアップし、就職にも役立っています。

POINT 02 国際交流イベント

国境を越えて交流活動を行うチームや留学生と交流をしながら言語や文化を学ぶイベントなど新しい自分を発見し、よりグローバルな視点が広がる環境を用意しています。

POINT 03 海外留学支援

お金のこと、治安のこと、学力のこと。興味はあるけれど、不安も多い海外留学。佐賀大学では、留学を希望する学生に対して、さまざまな角度からサポートを行い、安心して海外留学できるように支援しています。

POINT 01 英語力

TOEIC®2回受験

これからの社会に必要な、
英語力アップはここから。

佐賀大学では2013年度より、全学生を対象に「全学統一英語能力テスト」と称してTOEIC® IPテストを実施しています。1年次前期の1回目のテストは義務化されていますが、2年次後期の2回目は任意となっています。英語を継続的に学び続ける環境を整え、支援しています。

副専攻プログラム「欧米の言語文化専攻 英語コース」

徹底指導で英語力を引き上げ
グローバルな人材を育成します。

学部の専攻分野を問わず、国際的な知識と視野を持ち、英語での情報の正確な受信と積極的な発言ができるコミュニケーション能力を持ったグローバル人材の育成を目標としています。英語で行われるインタラクティブな授業と必修の短期留学(派遣・オンライン)で、国際プロジェクトでリーダーシップが取れる英語力(CEFR B2)を目指します。

2023年4月1日より「PAGE」は「副専攻プログラム「欧米の言語文化専攻 英語コース」」へと名称を変更しました。

Academic Express 3

eラーニングを活用し
英語力の質を向上させます。

世界最大級の教材データベース「スーパー英語」から、学習時間1,000時間を超える膨大な教材を提供するeラーニングサービスを拡充し、英語教育をきめ細かくサポートします。特に留学に必要な英語力を身につけるための教材が充実しており、継続して利用することでTOEFLやIELTSのスコアアップにつながります。

オンライン英会話ラウンジ

オンライン英会話レッスンで留学に向け英会話力を向上させます。

佐賀大学では留学を目指す佐賀大学生に無料で受講できる英会話レッスンプラットフォーム「オンライン英会話ラウンジ」を提供しています。1回25分の個人レッスンでは外国人インストラクターと自由に会話をしながら英語力、コミュニケーション力を向上させることができます。オンラインでのレッスンなので、インターネット環境があればいつでも、どこでも英会話が楽しめます。

POINT 02 国際交流イベント

立ち止まらずに世界を体験することで、可能性は大きく広がる。

佐賀大学の海外ネットワークは21カ国・地域74大学。海外の国や文化に触れることで、学識的にも人間的にも大きく成長することができます。佐賀大学では、学内でも国際交流ができるよう、様々な機会を提供しています。



グローバルサポーターズ

日本人学生と外国人留学生が共に学び、交流する機会を提供するため様々な国際交流イベント等を企画・運営する学生グループが「グローバルサポーターズ」です。グループには日本人学生と外国人学生が所属しており、学生の主体性を重視しながら佐賀大学のキャンパスの国際化を進めるとともに、メンバーそれぞれのスキルアップも目指しています。

グローバルサポーターズの様子を動画でご覧いただけます



ランゲージエクスチェンジ

世界のさまざまな国から佐賀大学に留学している外国人留学生と交流を深めながらお互いの言語を学びましょう。英語を始め、韓国語や中国語、スペイン語など様々な言語を簡単な会話で楽しみながら練習します。また日本語を習得したい留学生とは「やさしいにほんご」を使って日本語の練習をし、お互いに語学能力を高めることができます。



異文化交流イベント

学内では様々な国際交流イベントを実施しています。海外の文化を体験できるイベントや日本の文化を留学生と一緒に体験するイベント、季節のイベントなどを実施しています。佐賀大学にいながら、世界のさまざまな国や地域の特色や文化を「見て」「感じて」「体験する」ことができるイベントが盛りだくさんです。

POINT 03 海外留学支援

佐賀大学の海外ネットワーク21ヵ国・地域74大学



▶ 交換留学

海外協定大学への長期の交換留学も可能。世界21カ国・地域74大学と協定を締結しており、大学の推薦を受けて、協定校へ派遣されます。正規留学よりハードルが低く、留学がより実現可能になります。また、さまざまな支援やサービスで、安心して留学に挑めます。



努力して掴んだ留学のチャンス。 1年間の成長が将来につながっていく。

教育学部 学校教育課程 中等教育主免 英語分野
オーストラリア ラトロープ大学
井野口 陽一 長崎県 川棚高等学校出身

4年生からでも、できる!

私は高校生の頃から留学への夢があり、1年生で留学支援教育カリキュラム(英語副専攻)を受講しましたが、コロナ禍の影響で、留学を決断したのは4年生の時でした。そのため休学をせず、大学卒業を1年半延長させたギャップイヤー形式で1年間の交換留学を決めました。留学に向けて1番苦労したのは英語力です。オーストラリアは他と比べても語学条件が厳しく、1年かけてようやく条件をクリアすることができました。

留学の実体験を活かし、英語教員に

留学中は、教育倫理などの授業の他、夏休み期間中のホームステイや現地の中学高校への学校訪問など、学外の活動にも力を入れました。ここでの経験は大変貴重なもので、異文化交流はもちろん、学校で実際に生徒たちと触れ合いながら日本とオーストラリアの学校教育の違いを体験として学ぶことができました。将来は、単に教科書の教材を教える英語教員ではなく、学校教育におけるオーストラリアと日本の「架け橋」になりたいと考えています。



どんどん膨らむ留学への思い。 直に触れた中国は本当に素晴らしい。

芸術地域デザイン学部 芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
中国 浙江科技大学
江島 羽菜 福岡県 筑紫丘高等学校出身

授業がきっかけで留学を志望

私は、2年生の時に履修した「中国語の言語と文化Ⅰ・Ⅱ」で中国の文化と言語に興味を持ち、冬には、もっと現地の言葉や価値観を吸収したいという思いから交換留学を志望するようになりました。留学に際しては、早めに語学資格に取り組むほか、中国の情報規制の状況やネット環境への対策を考えながら、常に変化する状況にも落ち着いて対応できるような心の準備をしました。

充実した毎日の中で就活も積極的に

中国では、想像と現実のギャップに感動するばかり。道路も清潔で、スマートフォン決済が発達し、生活はとても便利で快適でした。勉強は週5で授業を受け、週末には韓国の友達と飲みに出かけたり、中国の友達の家で餃子を包んだり、勉強も遊びも充実した毎日でした。就職活動は、オンラインで様々な企業の説明会や選考に参加。しかし残りの留学期間が短くなるにつれ中国愛が大きくなり、今後何かしらの形で中国と関われるような仕事に就きたいと考えています。

▶ SUSAP SAGA UNIVERSITY STUDY ABROAD PROGRAM

長期休暇を利用したSUSAP(短期海外プログラム)ですが、語学研修に加え、その国の文化や生活についても学べるプログラムを提供。海外の学生との協働プロジェクトなども取り入れ、国際交流を行い、グローバルな視野を育みます。



2024年度実施予定プログラム ※変更の可能性あり

長期休暇を利用した10日から1ヶ月程度の全学部の学生対象プログラムです。単なる語学研修ではなく、学生各々が持つ関心や伸ばしたいスキル、将来のビジョンに応じて選択できるよう多彩なプログラムがあります。奨学金などの経済的支援や、留学に関するサポートも充実しています。

ラトロープ大学プログラム (オーストラリア)5週間・約70万円

多彩な国籍の学生と週20時間の授業を受講。
学生バディーやホームステイ家族とも交流。

バシフィック大学プログラム (アメリカ)3週間・約70万円

アカデミックイングリッシュの授業を履修。
アメリカ社会の側面を体験的に学びます。

東華大学プログラム (台湾)4週間・約16万円

専門分野の授業を英語で受講。自分の関心や専門分野に従って学習することができます。

スラバヤ工科大学プログラム (インドネシア)2週間・約25万円

インドネシアで多文化共生を学びます。現地学生とも交流します。

大邱大学校プログラム (韓国)2週間・約18万円

韓国第3の都市に位置する大邱大学校で韓国語基礎を学ぶ。韓国文化や食事なども体験し現地学生とも交流。

アルメリア大学プログラム (スペイン)2週間・約60万円

付属ランゲージセンターでスペイン語を基礎から学ぶことができます。またアルメリア大学の特色であるSDGsやダイバーシティについての現地授業に参加し、現地学生との交流もあり、プチ交換留学を体験できます。



大きく成長できた1ヶ月間が かけがえのない宝物。

教育学部 学校教育課程
小中連携教育コース
アメリカ バシフィック大学

鹿江 陽菜 佐賀県 致遠館高等学校出身

自分の英語力を試したい、様々な文化や価値観に触れて視野を広げたい、そんな思いで参加しました。授業やボランティア活動やイベントに参加し、休日や放課後にはアメリカや佐賀大学の仲間と遊びに行き、本当に楽しく充実した日々でした。海外という慣れない環境の中で困難もありましたが、それ以上に、自分自身の行動力や生活力、英語能力など様々な面で成長を実感できました。



異国での大切な出会いに 学習意欲がぐんと向上!

農学部 生物資源科学科
国際・地域マネジメントコース
インドネシア スラバヤ工科大学
杉浦 瑞生 富山県 富山高等学校出身

私はSUSAPで、インドネシアの文化や宗教の多様性などどのように共存しているのかを学びました。寺院や教会を訪問し、直接説明を受けるなどの貴重な体験ができた、あっという間の17日間でした。現地の学生や他国からの留学生と話した際に「よりスムーズにいろんな国の人とわかり合いたい」と感じたことが、帰国後の英語学習の方法や大学での留学生との関わり合いに大きく影響しています。

▶ 佐賀大学の卒業生は海外での学びを今どのように生かしているでしょう?



留学で学んだことを 地域のために活かしたい。

先進健康科学研究科
先進健康科学専攻修了
佐賀県庁勤務

澤山 芽衣

姉の影響もあり、入学前から留学を考えていました。大学1年生の夏、農学で有名な台湾・国立中興大学の短期プログラムに参加し、学部3年生で同じ大学に1学期間、その後フィンランドのユバスキュラ大学に1学期間交換留学し環境技術を学びました。帰国後は大学院で農学を学び、それまでの学びを地域に還元するために佐賀県庁に就職しました。



コロナ禍を乗り越えて留学。 これからも学び続けたい。

経済学部 経済法学科卒業
読売新聞西部本社勤務
中村 由加里

学部1年生の夏休みに海外経済実習には参加しましたが、コロナの影響で交換留学を断念。コロナ禍で余った時間を活かして学部3年生で中国語学習を始め、交換留学が再開した学部4年後学期に台湾の政治大学に留学し、台湾華語、歴史、文化を学びました。今後もアジアの「これまで」と「これから」について学び続け、記者活動に活かしたいと考えています。



ツナガル留学日記

先輩達の詳しい
留学体験記はこちらから

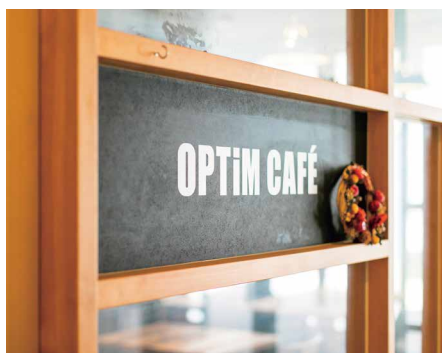
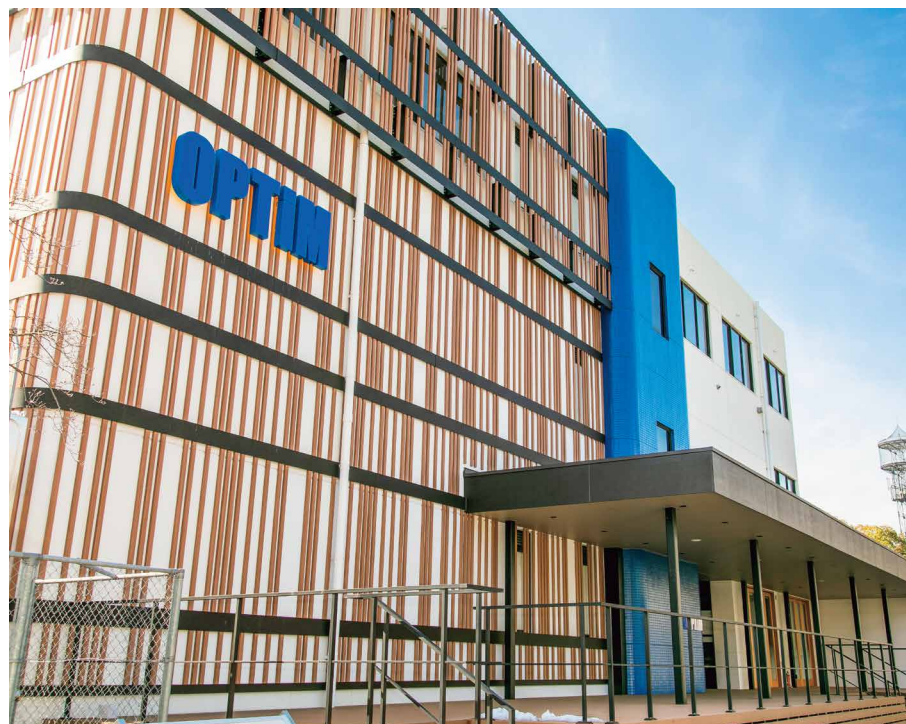


学内企業設置



充実した環境や施設が大きな刺激と成長を与えてくれる。

佐賀大学構内には7社の企業や団体が設置されており、大学でありながら社会と交わる機会があります。
最高のジブンを育てる、バラエティ豊かな環境を整えています。



キャンパスへの企業設置

キャンパス内に7社を誘致。社会実装教育をより身近に。

佐賀大学では「グローバルな視野を持つ地(知)の拠点」を目指し、これまでIT関係、ロボット工学、AI、電気化学に関わる様々な企業・団体をキャンパス内に誘致するという画期的な取り組みを行ってきました。キャンパス内に開設された企業ではそれぞれに佐賀大学と連携しながら社会実装教育が行われ、学生に社会のあり方を示唆するとともに、共同開発をさらに発展させることで地域貢献も目指してきました。中でも、株式会社中山ホールディ

ングスが開設している「佐賀大deラボ」は、ファブラボのように分かりやすい形で情報発信している取り組みでもあり、注目を集めています。学内の一部の企業ではアルバイトやインターンシップも受け入れており、社員たちとともに実社会の現場や仕事を体験することも可能です。今後は、佐賀大学発ベンチャーとしての起業支援も含め、より広い視野での実践的な学びを応援していきたいと考えています。

ITで地域社会に貢献する。

SDC 株式会社 佐賀電算センター
Saga Densan Center

人的交流を活発にし、ITの可能性を追求。

佐賀大学とは古くからの付き合いがあり、業務システムの導入やタブレットを用いたCBT入試の共同開発のほか卒業生の入社も多く、強い信頼関係を築いてきた佐賀電算センター。2020年6月に佐賀大学と連携協定を結んだことを機に、本庄キャンパス内に共同研究開発拠点として「R&Dセンター」を開設し、AIやIoTを得意としているメンバーを配属しました。ここではDX(デジタルトランスフォーメーション)技術を活用し、AI(画像判読・自然言語解析)・MR(拡張現実)・スマホアプリの共同開発をはじめ、デジタル人材の育成なども推進しています。佐賀大学生をインターンシップやアルバイトとして受け入れ、実際に社会に貢献するサービスを一緒に開発し公開しています。常に新しいことを取り入れている佐賀大学に拠点を置くことでチャレンジ精神に刺激を受けるとともに、先生方や学生とよりよい関係を築き、相互の発展や地域産業へ貢献していきたいと考えています。

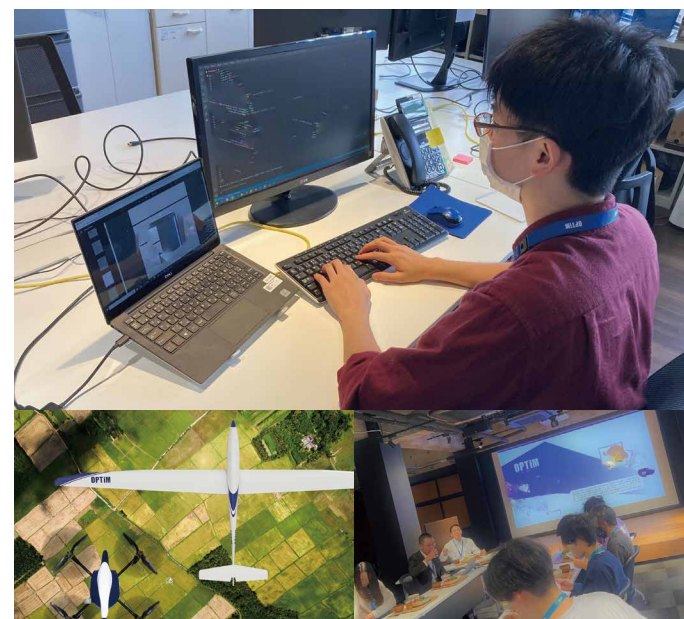


ネットを空気に変える。

OPTiM[®]
株式会社オプティム

ITの力で社会課題を解決する。

オプティムは「ネットを空気に変える」をミッションに、インターネットそのものを空気のように全く意識することなく使いこなせる存在へ変えていくことを目指しています。AI・IoT・Roboticsなどの最先端技術を活用することで、私達の身の回りの生活や産業にある課題を解決し、さまざまな業界・産業の新たな価値を創造していきます。誰かが世界を良くしてくれるのを待つのではなく、自らが「世界を変える」側でありたい。仕事を通じて世界に大きく良い影響を与えたい。そんな熱い思いを持って、佐賀大学内で社員と一緒に挑戦を楽しみ支え合うアルバイト生やインターン生がオプティムにはいます。佐賀大学と連携して授業で学生にプログラミングや最先端技術を学べる講義も行っています。ご興味がある方は明日の世界を最適化する「無限大」の可能性を秘めた事業・サービスを私たちと一緒に創り出していきたいと思います。



アイデアをカタチにし、地域貢献へ。

Nakayama
株式会社中山ホールディングス「佐賀大deラボ」

充実した設備・環境で、ものづくりを身近に。

佐賀大deラボは、本学の「キャンパス内で社会実装教育」の実現に向けて、2019年に設置された中山ホールディングスがサポートしている産学連携拠点です。この施設には設計用の3DCAD、3DCGソフトをはじめ、3Dプリンター、レーザー加工機、CNCフライス盤や穴開け加工のボール盤など、ものづくりに必要な装置・道具などを幅広く完備しております。学生は気軽にものづくりを行うことができ、アイデアをカタチにする充実した設備を整えています。また中山ホールディングスの依頼にアルバイトとして携わることで、「実務経験を積みながら」社会勉強ができる場所となっています。学生たちと最新機器に触れ、アイデアを生かしたものづくりを行い、それを地域貢献に役立てていくことを目指しています。



佐賀大学に
設置されている
企業7社

OPTiM[®]

Nakayama

福博印刷株式会社

METAL JACKET

SDC
Saga Densan Center

株式会社 佐賀電算センター

佐賀新聞社

C.T.I.

株式会社コンピュータ技研

学生起業家



新たな自分、新たな環境に挑戦できる起業家の輩出をめざす。

佐賀大学では、佐賀県や佐賀市、数々の地元企業と協働しながら創造的人材の育成をめざしてきました。

アントレプレナーシップ教育にもいち早く取り組み、学生のチャレンジ精神を環境面からも積極的に支援しています。



左より、twelS株式会社 小嶋さん、株式会社WIDE 北原さん、一般社団法人BASE SADAI 高重さん、テトラクワイエ株式会社 濱田さん、合同会社sunapp 高津さん。

主体性やチャレンジ精神を育てるアントレプレナーシップ教育

起業家精神をはじめ、すでにある事業を承継していくための知識や技術、新たなプロジェクトを立ち上げるための企画力、優れたチームの作り方など、ビジネスや地域社会で他者と協働しながら各々の能力を効

果的に活かすスキルを身につけます。学部学科を超えた多様なクラスメイトとともに実践的に学ぶことで、今ある環境の中でもチャレンジ精神を発揮し、自らが動きだせる人材の育成をめざしたプログラムです。

アントレプレナーシップ教育実践の授業（インターフェース科目）

チームビルディングとリーダーシップ

企業連携で、実践的にチームビルディングを学ぶ。

チームを組んで地元企業の課題に取り組み、実社会で役立つ技術・思考を身につけていきます。活動を通して、チーム内での自分の役割や貢献を認識します。学内、地域、ボランティアなど、さまざまな環境で実践した実績と評価が、自信や達成感につながっていきます。

学びの内容

- ・多くの県内企業と連携し、実際のデータや要望を反映した実践的な学び
- ・社会問題の把握→企画→プレゼン→実施までの一貫した学び
- ・2年間にかけたスモールステップで着実な成長

2年間でできる「がばいベンチャー」の作り方

ITスキル×アントレプレナーシップ教育で、行動できる力を育成。

学内に拠点をもつ企業やビジネススクールと連携し、社会課題を見つけ、解決していくためのビジネスプランに取り組みます。プログラミングを修得し、IT技術を組み込んだプランを構築します。同時に、グループワークを重ねて、多様性やコミュニケーションの重要性を学びます。

学びの内容

- ・(株)オプティム(IT企業)やNPO法人風雛塾(ビジネススクール)との連携
- ・プログラミングを取り入れたビジネスプラン構築
- ・2年間の集大成としてビジネスプランコンテストでの発表

学生によるイノベーションを応援する大学のサポート



佐賀大学発ベンチャーの認定

大学での研究成果を活用した新事業に「佐賀大学発ベンチャー」の称号を授与し、バックアップしています。

- 【取組例】
- 佐賀大学で法人登記が可能
 - 会社のスペースを無償で提供



相談窓口

新規事業・新団体の立ち上げなど、「これがしたい!」といった時に、まず初めに相談できる窓口です。

- 【取組例】
- 佐賀県やよろず支援拠点などと連携しながら、様々な企業や地域の人材を起業希望者とマッチングし、新たな起業をサポート



企業と連携

大学の研究に興味がある企業や起業支援組織と連携しながら、学生起業家が活躍できる環境を整えます。

- 【取組例】
- 九州・大学発ベンチャー振興会議、PARKS、風雛塾との連携
 - 佐賀銀行・佐銀C&Cと産学金連携協定を締結。佐賀県のスタートアップ事業と連携



広報活動

学生の新たな取り組み、注目の新規事業、ビジネスコンテストの入賞などは、学内外に向けて積極的に広報していきます。

- 【取組例】
- 広報誌「かちがらす」、佐賀大Pressへの掲載
 - HPでのプレスリリース掲載



コワーキングスペースの開設

起業に関心がある学生が、情報交換や交流できる場として開設しました。簡単な登録で、起業の準備や実務を行う場として、また打ち合わせの場として、幅広く活用できます。

- 【取組例】
- 大学発ベンチャー関係者や起業準備中の学生は、24時間365日、無料で自由に利用可能
 - 起業までの4つのステップに沿った起業支援セミナーや、ピッチイベントを随時開催



.....〈 佐賀大学発! 学生起業家などチャレンジャー紹介 〉.....



〈 株式会社山城機巧 〉

山城 佑太 学部4年次に起業
腰の負担を軽減する用具〈フット〉を開発し、起業。2020年の「キャンパスベンチャーグランプリ」全国大会で最優秀賞受賞。



〈 株式会社AS 〉

浅川 泰輝 学部4年次に起業
インターネットを使ったモバイルオーダーシステム「ASオーダー」の開発・運用。「さがラボチャレンジカップ2020」最優秀賞獲得。



〈 合同会社ロケモAI / 株式会社NEXS 〉

梶原 薪 学部4年次に起業(ロケモAI) 博士課程1年次に起業(NEXS)
バスの位置情報を知らせるサービス提供で、3人で起業。大学院でさらにもう一社を起業。「さがラボチャレンジカップ2021」最優秀賞獲得。



〈 株式会社SA-GA 〉

森山 裕鷹 学部4年次に起業
ブロックチェーンを研究し、複数の特許を取得。特許の製品化をきっかけに起業。学校向けキャッシュレス決済サービス「学校PAY」を開発し提供中。



〈 テトラクワイエ株式会社 〉

濱田 悠菜 学部4年次に取締役社長就任
医薬品の開発・販売に取り組む会社の2代目。社長経歴を積むことで、起業への意欲が芽生えた。



〈 株式会社WIDE 〉

北原 誠大 学部4年次に起業
学校の部活動を取り巻く環境について興味をもち、研究。部活動と指導者をつなぐサービス「すくスポ」を提供。



〈 合同会社sunapp 〉

高津 汰耀 学部3年次に起業
福岡県立新宮高等学校出身。バスケットボールの試合や観戦に活用できるシステムアプリ「スコアキャスト」を開発。中学・高校でサービス提供を開始。



〈 学生演劇集団「らんばん」 〉

川原 彩音 学部2年次に旗揚げ
大学で演劇の魅力に触れ、仲間を増やしたいとの思いで劇団を旗揚げ。新たなエンターテインメントに挑戦中!



〈 一般社団法人BASE SADAI 〉

高重 敬太 学部3年次に設立
大学部活動の経済的な問題を解決すべく、部と県内のスポンサー企業を仲介する社団法人を設立。



〈 twelS株式会社 〉

小嶋 恒 博士課程1年次に起業
数式や自然言語(日本語や英語など)を検索できる数式検索エンジンを開発。法人に向けたサービスを提供。

株式会社WIDE 北原さん 学びと起業



将来や就活への不安もあり、起業に興味を持つように。

1年次 不安と興味

「現代の教育と社会」という講義で部活動の課題について知り、研究を開始。

「佐賀市ビジネスコンテスト」で優勝し、それが自信に。

3年次 活動と自信

同級生4人と学生団体WIDEを立ち上げる。

部活動が持つ可能性を最大限にカタチにしていきたい!

4年次 起業とチャレンジ

4月に株式会社WIDEを設立し、9月に佐賀大学発ベンチャー認定。

起業!

起点。
可能性に
出会う

FACILITY INTRODUCTION

施設紹介

ともに学び、成長するための
環境・施設が充実。

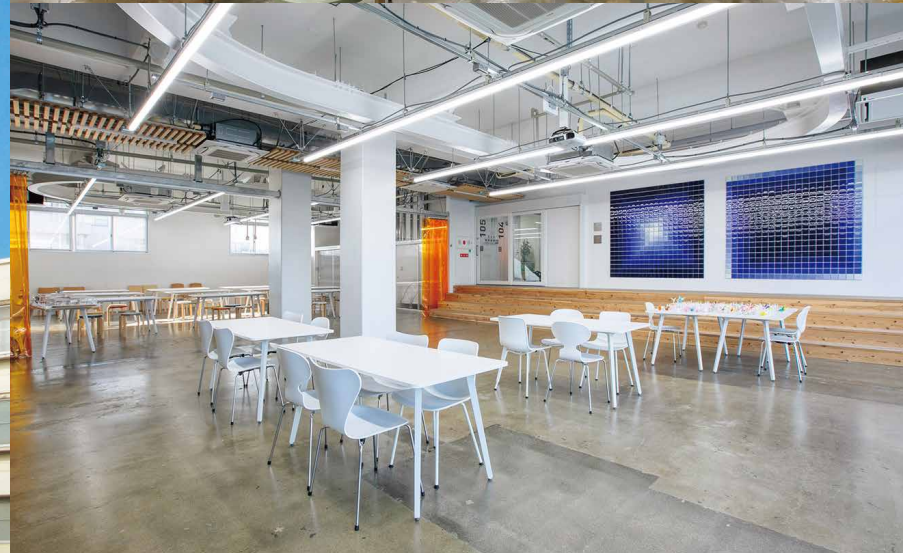
佐賀大学 美術館

教育、芸術振興、地域交流に貢献する美術館。

佐賀大学美術館はガラス張りの明るく開放的な造りで、大学正門に位置しています。美術・工芸作品を展示・収集・保管しながら、教育の実践の場として活用し、さらに地域の人々にも気軽に観覧していただけるように造られています。大学主催の企画展示のほか、市民や卒業生の企画展示も行っています。



理工学部 4号館



教授たちが手がけた 建築を実践的に学ぶ新校舎。

建築系の研究室と演習室などをまとめた理工学部4号館は、佐賀大学の建築系教員による設計監修で改修されました。天井をスケルトンにして補修部分や空調や電気設備の配管等を見せるなど、学生が建築を実践的に学べる環境です。



産学交流 プラザ

産業や地域とのつながりを深め 新たな知の拠点をを目指す。

2021年に、佐賀大学の新たな知の拠点として開設されたのが産学交流プラザです。北側は全面ガラス張り、建物中央部は吹きぬけの開放的な造りです。学内のユニークな研究や共同研究の成果を紹介したり、地域連携や産学連携を推進・サポートする窓口などが集約されています。



1F インフォメーションコーナー

佐賀大学の設立時からの歴史や、最新の研究を紹介するコーナーです。研究成果の実物展示や、足で操作できる非接触型システムのスクリーンもあり、佐賀大学の概要を興味深く知ることができます。



2F 学生ベンチャースペース

2階部分は学生ベンチャースペースです。佐賀大学の学生が起業したベンチャー企業も入居し、互いに刺激し合いながら事業や研究に取り組んでいます。新たな学生起業家を応援する環境が整っています。

